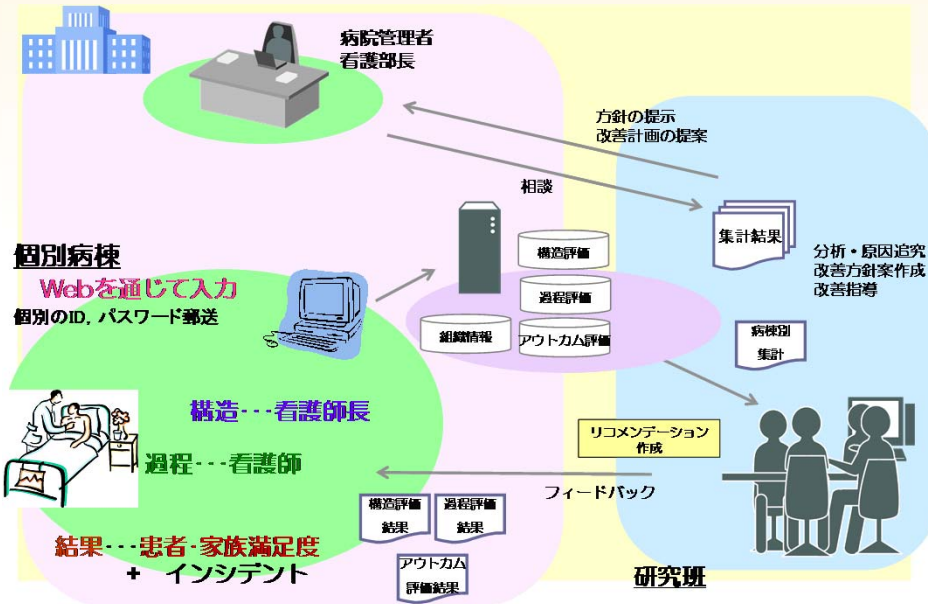




看護ケアの質評価・改善システム

<http://www.nursing-qi.com/>

本Webシステムは、看護ケアの質の改善を目的とした研究により開発しました。



このシステムは、あなたの病棟で行われている看護ケアの質を自己評価することで、問題点を明らかにし、改善点を提言することを目的としています。

お手元のパソコンからインターネットを通して、データを入力すると、データベースに格納され、それらを集計・分析し、質評価結果と提言（リコメンデーション）を、病棟ごとにお返しします。

個人の看護ケアを評価するためのものではありません。各自にID・パスワードをお送りしますので、入力されたデータの匿名性は保障されています。

評価の枠組み

この評価ツールでは、看護ケアの質を次の3つの視点で行っています。

- ① 構造：ケアの提供の前提となるようなシステム、設備等
- ② 過程：ケア提供が実際にどのように行われているか
- ③ 結果（アウトカム）：患者からの評価やインシデント発生件数

構造 Structure	過程 Process	結果 Outcome
患者への接近 内なる力を強める 家族の絆を強める 直接ケア 場をつくる インシデントを防ぐ	患者への接近 内なる力を強める 家族の絆を強める 直接ケア 場をつくる インシデントを防ぐ	患者満足度 患者への接近 内なる力を強める 家族の絆を強める 直接ケア 場をつくる インシデントを防ぐ インシデント発生件数 (転倒、転落、褥創、院内感染、誤薬について60日間調査)

評価病院・病棟募集中

貴病棟の看護ケアの質評価をしてみませんか？

一般社団法人 日本看護質評価改善機構

(連絡先) 鄭 佳紅 (青森県立保健大学 内)

〒030-8505 青森市浜館間瀬58-1

TEL&FAX 017-765-2249

E-mail otazune@nursing-qi.com

あなたの病棟の看護ケアの質について、調査結果をお返しします。

あなたの病棟の全体評価

あなたの病棟のデータを研究班で分析した結果について、以下に記述します。

1) 構造評価について

「家族の絆を強める」領域の質は大きく維持されています。「患者への接近」「直接ケア」「インシデントを防ぐ」領域の質は比較的に維持されています。「場を作る」「橋を作る」領域の質は良いとは言えず、改善の余地があります。しかし、「内なる力を強める」領域の質は良いとは言えず、改善の余地があります。患者が早退しを持って治療に取り組めるように資料を準備し、適切な説明を補助するなど看護師の役割をシステムの中で位置づけるための構造を整備する必要があります。

2) 過程評価について

「患者への接近」「内なる力を強める」「直接ケア」「インシデントを防ぐ」領域は、質は比較的に維持されています。「場を作る」「橋を作る」領域の質は高いとは言えず平均値を下回っています。しかし、「家族の絆を強める」領域の質は良いとは言えず、改善の余地があります。看護師が患者の家族に説明性をもって問うよう意識することができれば質は高まると考えられます。「家族の絆を強める」領域は、評価の評価もそれほど高くはありません。家族ケアについて今後考えてみることをお勧めします。また「場をつくる」領域の質は構造、過程ともにそれほど高くなく、一人医療を実践する薬師が限られている可能性がありますので維持して下さい。

3) 結果評価について

①患者満足度評価について

患者満足度は、全国に比べて高い評価であり、各病棟とも今回調査した施設全体の平均値を上回り、患者から高く評価されています。特に高い評価されているのは「内なる力を強める」「家族ケア」領域の質であり、構造評価、過程評価ではどうかという点に留意する必要があります。構造評価や過程評価は、評価の質を高めることが必要です。満足度の観点からは、評価の質を高く維持することが必要です。

②インシデント評価について

前回の調査と比較して今回より高い結果です。構造評価、過程評価での「インシデントを防ぐ」領域の質は比較的に高く、そのことがこの領域の質を高くしている可能性があります。今後とも引き続き質を維持することを期待します。前回の調査については、事例のある患者が多く入院していることでは、きつくない患者も少なく、患者の質を高く維持することが必要です。また、状況判断が難しい患者も少なく、患者の質を高く維持することが必要です。また、状況判断が難しい患者も少なく、患者の質を高く維持することが必要です。

③前回のインシデント発生率と全国平均

	前回の発生率	前回の発生率	前回の発生率	前回の発生率	調査の発生率
	(SD)	(SD)	(SD)	(SD)	(SD)
全体の平均	1.81	0.80	0.54	0.37	2.5
貴病棟	0.00	0.00	0.55	0.00	0.0

あなたの病棟の結果です。

病棟の看護ケアの質を構造・過程・アウトカムの側面から、看護ケアの6つの領域の視点で評価した結果を記述します。
また、調査病棟全体の平均や前回調査の結果を示します。

評価項目	10/21	2/18
場を作る	8.31	8.00
インシデントを防ぐ	10.61	18.75

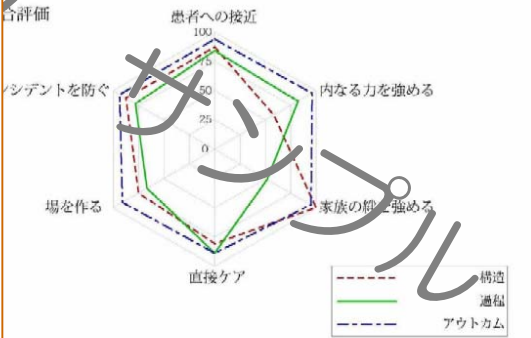
項目	前回の評価	今回の評価	前回の評価	今回の評価
患者への接近	5.50	5.65	5.50	5.65
内なる力を強める	5.57	5.76	5.57	5.76
家族の絆を強める	5.58	5.70	5.58	5.70
直接ケア	7.81	8.00	7.81	8.00
場を作る	8.31	8.40	8.31	8.40
インシデントを防ぐ	10.61	10.62	10.61	10.62

【病院・病棟単位でできること】

- ・病棟の看護ケアを評価することが可能になる。
- ・改善点が明確になる。
- ・改善の経過をモニタリングできる。

【全国的にできること】

- ・全国の看護ケアの標準が明らかになる。
- ・看護ケアの質に影響を及ぼす要因が探求できる。
- ・グッドプラクティス(成功事例)を抽出することができる。



※領域で「回答しない」が1項目以上あった場合は0点として表示されます。満点を100として%で表示しております。

本システムは、一般社団法人 日本看護質評価改善機構 が運営しています。
評価期間は、7月～11月です。

本システムのご利用をご希望の際は、同封の葉書もしくは、E-mail でご連絡ください。なお、患者アンケート調査票および送料等の**実費負担**が必要です。

費用	1 病棟	...	20,000 円
	2 病棟	...	30,000 円
	...	以降, 1病棟ごとに	+ 10,000 円